



日本共産党文京区議会議員  
**まんだち幹夫** 通信  
 2012年1月27日号 No.227

**'みなさんをいつもまんやかに、'**

区議団控室：5803-1317 (直通)  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



組立式の簡易トイレ(上)と  
 本物の火を消す訓練

**参院東京選挙区候補に  
 吉良よし子さんを擁立**



早稲田大学  
 第一文学部卒 29歳  
 高知県出身  
 趣味：合唱  
 ピアノ、観劇

来年夏の参院選挙の東京選挙区(定数5)に、吉良(きら)よし子さんが立候補を表明しました。

吉良さんは豊島区内の印刷会社で4年間、CSR(企業の社会的責任)の報告書作成支援の業務にとり組み、2009年の都議選で豊島選挙区から立候補しました。

小池あきら前参院議員は、参院比例候補として立候補します。

衆院東京比例候補は、笠井あきら(現)と宮本とおる(新)です。

朝早くから、こんなに集まるなんて避難所開設訓練が21日、礪川小学校校庭と体育館で行われました(礪川小を避難所とする近隣4町会主催)。

雪まじりの荒天のなか、朝8時から次々と参加者が集まり、テント張りや炊き出し準備に、炊き出しは備蓄倉庫に置かれている可搬式のバーナーを使ってトン汁をつくります。もちろん簡易の発電機から電源をとります。開会されるとまず、学校内の備蓄倉庫を見学。その後応急処置、簡易トイレの組み立てや消火訓練など、みんなで体験します。この日は起震車も登場、私も乗ってみました。関東大震災と同じ揺れを

体験でき、とくにはげしい震度7の横揺れには衝撃を受けました。

折しも先日、東大の地震研究所が、今後4年間でマグニチュード7級の首都直下型地震の発生率が70%!という驚くべき研究結果をまとめました。「いつ起きてもおかしくない」とは言われてきたものの、ほんとうに覚悟が必要です。この貴重な体験を生かすための地域の自治力の向上と、行政の役割がいよいよ大事です。



震度7の可能な起震車

礪川小学校で避難所開設訓練開かれる  
**4年以内にM7級の首都直下型地震!**  
**避難所は? 食料、トイレや帰宅困難者は?**

**まんだち日誌**

18日 午後2時から事務所茶話会。今日は9人が参加。子育てのことから歴史談義まで多彩でした。

19日 小石川3丁目を中心に新年のあいさつ訪問。「仕事がない」...今日も印刷製本業界の厳しさを訴えられました。

20日 冷たい雨の中、朝は日刊紙配達、夜、区職員組合の学校分会の新年会。給食の委託で来年から区直営は1校のみに。全校委託を止め、給食の設備改善や常勤の栄養士配置、区内業者からの食材調達など求めていきます。

22日 午後、日朝協会東京都連の新春のつどいに。教科書採択の講演と、朝鮮高校生徒の舞踊、合唱が披露されその新鮮さに感激しました。